

「経済活動と法」年間学習計画（シラバス）

流通ビジネス研究委員会

教 科	学 科	学 年	類 型	組	単位数
商 業	商 業	2			3

使用教科書	経済活動と法（実教出版）
副 教 材	経済活動と法問題集、全商商業経済検定模擬試験問題集
準 備 物	教科書、ノート、問題集

1 授業の概要

- 企業活動に関する法規や社会生活を営む上で関係の深い法規に関する基礎的・基本的な知識を習得します。
- 経済社会と法、権利・義務と財産権、財産権と契約そしてその保護、企業活動に関する法、社会生活に関する法、紛争の予防と解決について授業を構成します。
- 法規を広く経済活動に結び付けて、事象を的確に判断できる能力を身に付けます。

2 学習目標

- ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解します。
- 経済事象を法的に考え、判断する能力と態度を育てます。
- 民法と商法を中心に法の意義や役割など、法制度を正しく理解します。

3 学習の心得

- 基礎的・基本的専門用語をノート等に整理し、諸活動に必要な法規を具体的な経済事象と照らして理解を深め、法的に思考し判断する能力を育てましょう。
- 各單元ごとの事例に応じた調査・見学などを通して、体験的に法的事象を把握し理解するよう積極的に活動しましょう。
- ビジネスの諸活動を遂行するために必要な民法や商法に関する知識を習得しましょう。

4 学習評価と評価方法

観 点	観 点 の 内 容	評価方法
①関心・意欲・態度	ビジネスに必要な法規に広く関心を持ち、その意義や役割を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	自己評価 ノート
②思考・判断	基本的な用語や知識を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けることができる。	自己評価 定期考査
③技能・表現	経済社会の一員としてビジネスの諸活動や法規を適切に実践することができる。	課題レポート
④知識・理解	企業活動や社会生活に関する法規の基礎的・基本的知識を身に付け、法規の意義や役割を理解できる。	課題レポート 全商検定試験 定期考査

5 学習計画

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	考 査	評 価 の 観 点			
						関心 意欲	思考 判断	技能 表現	知識 理解
第	4 月	1	1 章 経済社会と法	・経済社会と法とはどんなものか、その本質を明らかにし、法の体系を学習します。	中 間 考 査	◎			○
		1	1 経済活動における法の役割				○		◎
		1	2 法の意義と体系	・法の効力や適用・解釈など法を学ぶための基礎的な知識を身に付けます。				○	◎
		1	3 経済環境など社会の変化と法			○	◎		
		4	4 法の適用と解釈						
		4	2 章 権利・義務とその財産権	・社会生活は法律関係で成り立っており、その法律関係の権利・義務の意義、関係そして主体について学習します。	中 間 考 査		○		○
			1 権利・義務とその主体						
			(1) 権利と義務	・権利・義務の主体としての自然人について理解します。					
			(2) 権利・義務の主体	・自然人の権利能力・行為能力を理解し、制限行為能力者制度について学習します。					
			(3) 自然人の権利能力						
			(4) 自然人の行為能力と制限 行為能力者制度		中 間 考 査				
			(5) 法人						
		5	2 物と財産権	・物権の対象となる物の概念と範囲を理解します。		○			◎
			(1) 物	財産権の内容として経済的利権が認められるもの					

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	考 査	評 価 の 観 点			
						関心 意欲	思考 判断	技能 表現	知識 理解
第 2 学 期	9 月	11	5 財産権の保護 (1) 物権の保護 (2) 債権の保護 (3) 債権の担保 (4) 不法行為	・財産上の権利が第三者に侵害されたり、債務の履行がない場合に、権利者はどのように自己の権利を守るのか、事例によって学習します。 ・債権者平等の原則を理解し、物的担保・人的担保・不法行為の意義・要件について学習します。	中 間 考 査			◎	○
		10 月	4	4 章 企業活動に関する法 1 企業活動の主体 (1) 商人 (2) 商行為 (3) 商業使用人		・商人とはどういう人か商人概念を理解します。 ・商人概念を規定する商行為についてその種類を理解します。 ・商業使用人の責任について理解します。		○	◎
			3	2 営業活動の自由と制限 (1) 営業自由の原則 (2) 営業自由の制限		・営業自由の原則について理解し、公益や消費者利益、営業の方法について学習します。		◎	○
			3	3 サービス関連の企業活動と法 (1) サービス関連企業と法 (2) サービスに関連するその他の営業		・サービス関連企業の内容について理解し、その他の営業の必要性和法律上の地位について学習します。	◎		○
	11 月	12	4 株式会社と法 (1) 株式会社設立の手続き (2) 発起人と会社設立当時の取締役の責任 (3) 株式と株主の権利 (4) 株式の種類 (5) 株式の譲渡 (6) 種類株主の取締役・監査役の選解任権など (7) 株式と社債 (8) 株式会社の機関とその種類 (9) 株主総会 (10) 取締役会と代表取締役 (11) 監査役 (12) 委員会等設置会社 (13) 会社関係書類の電子化	・営利社団法人としての株式会社の法的意義を理解します。 ・株式会社の設立は、多数の利害関係者が存在することから準則主義に則り、法的に厳格な規制があることを理解します。 ・株主の地位、株主平等の原則、株式の分類の制度的意義について理解します。 ・株式の自由譲渡・善意取得の原則保障について理解します。 ・株式会社の機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を理解します。 ・株主総会の決議事項と議決方法について理解します。 ・業務執行の意思決定機関としての取締役会、監査役の独立的機能・重要性について理解します。 ・委員会等設置会社、会社関係書類の電子化について学習します。	期 末 考 査	◎	○		
		12 月	9	5 手形・小切手と法 (1) 手形・小切手の意義と性質 (2) 手形行為・小切手行為 (3) 約束手形		・手形・小切手について法律上の要件と制度について理解します。 ・手形行為・小切手行為について学習します。 ・約束手形の書面性、重要性、法定記載事項について理解します。		◎	○

時数合計	42
------	----

学 月	時	学 習 項 目	学 習 内 容	考	評 価 の 観 点			
					関心	思考	技能	知識